

自ら学ぶ 認め合う 大きな夢をもつ

校長 加藤 良夫

ようこそ大谷中学校のホームページへお越しくございました。

私は、大谷中学校第17代目の校長 加藤良夫と申します。令和6年度の人事異動により、高波國夫校長の後任として着任いたしました。

大谷中学校の歴代の校長や教職員、地域の力をお借りし、築いた財産を大切にしながら、生徒、保護者、地域とともにある学校づくりに教職員一丸となって邁進する決意でございます。どうぞよろしく願いいたします。

本校は、昭和57年4月1日、大宮市立七里中学校より、分離し、大宮市立大谷中学校として、開校しました。今年で43年目を迎える歴史と伝統のある学校です。

今年度、121名の新入生を迎え、生徒数363名、特別支援学級の2学級を含む12学級の規模の学校です。

今年度は、「寄り添い 導く 見届ける」の方針のもと、生徒たちに寄り添い、信頼関係に基づく指導を基本として、生徒の自己実現に向けた支援を行います。

具体的には、スクールダッシュボードの活用、Sola る一むの充実等による心のサポート体制の構築、1人1台端末を活用した主体的、対話的で深い学びによる授業実践等を行ってまいります。

未来を担う子どもたちが、人生100年時代を豊かに生き抜くために、子どもたちには、自分の幸せな人生と豊かな社会を創造するために、多くの他者と協働して、知識・技能を習得し、思考力や判断力、表現力を身に付け、自らの学びを人生や社会に生かそうとする力が不可欠です。

本校の学校教育目標である、「自ら学ぶ 認め合う 大きな夢をもつ」の具現化のため、保護者、地域の皆様と我々教職員が力を合わせ、通いたい学校、通わせたい学校、勤めたい学校となり、生徒の皆さんが「大谷中でよかった」と思える学校にしていきます。昨年度と同様にそれぞれのお立場からのお力添えをお願いいたします。